

障がいのある方の雇用に取り組む

社会福祉法人洛東園(京都市東山)

「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容：高齢者複合施設の運営

【障がいのある方が従事している仕事】

- ・洗面、風呂、床、食堂、機器類の清掃
- ・各部署から出る分別されたゴミの収集



【仕事上での工夫】

- ・業務内容を出来るだけ簡易なものとし、基本となる手順通り作業すれば、1日の仕事が完結するように工夫しています。
- ・完璧さは求めず、各自の出来る範囲で精いっぱい仕事することを重視しています。
- ・相談員を中心にひとつのチームになっており、相談員がスケジュールを管理し、ローテーションで持ち場が変わります。
- ・相談員が障がい特性や各自の状況を把握し、京都障害者職業センターと連携し、いつでも相談できるようにしています。必要な場合、ジョブコーチ支援も受けています。

【Hさんに聞きました】

- ・6年前に病気で左半身に障がいが残りました。ここで働いて2年目になります。
- ・利用者から「ここも拭いてください」とか言われると嬉しくなります。
- ・洗面・トイレの清掃をもっとやりたいので、3か月で一通り出来るように練習しています。
- ・1日中、集中できて満足しています。

【障がい者雇用の経過】

- ・社会福祉法人として、障がい者の雇用の機会を設けて社会的に貢献するため、介護の補助や間接的な作業を切り分け雇用を進めてきました。
- ・現在、主な三つの施設に、障がいのある方が7名働いています。

【障がい者雇用で実感したこと】

- ・障がいのある方は真面目に働かれ、仕事が非常に丁寧です。
- ・清掃を業者から変更してから、彼らの丁寧な仕事のおかげで、インフルエンザの発症率が下がりました。

